

11 試 験 研 究

林業試験場試験研究課題

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
1 森林造成に関する研究			
(1) 荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立	R5～R7	荒廃農地の林地化のために、土壌条件等による最適な植栽樹種の選定及び林地化に必要な作業等の判定技術を確立する。	森林管理
(2) 鳥取県の環境に適したカラマツ初期保育技術の確立	R5～R7	耐雪性や下刈りによる成長への影響を把握することで、鳥取県の気候条件に適したカラマツの初期保育技術を確立する。	森林管理
(3) 再生林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験	R3～R6	通常と異なる植栽時期にコンテナ苗と裸苗を植栽し、苗木の活着や成長（樹高、直径）を調査し、本県の気象条件での植栽時期の限界を明らかにする。	森林管理
(4) 山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立	R3～R6	山地災害リスクを含む山の地形条件に応じた作業システムを適正に選択する手法と架線系を選択した場合の効率的な作業ポイントの設定手法について検討する。	森林管理
(5) 山地災害リスクを考慮した森林整備手法の検討	R4～R6	斜面崩壊防止に重要な役割をはたしている「要木」の保全・育成方法について検討し、災害リスクの高い場所での土砂移動抑制効果を維持した効率的な森林整備方法を確立する。	森林管理
(6) ナラ枯れ跡地における更新に関する研究	R4～R7	過去のナラ枯れ跡地の植生状況を調査することで、ナラ枯れ跡地の健全な森林への回復判定指標を作成する。	森林管理
2 森林造成に関する共同研究 (受託研究)			
(1) 無花粉スギ等の着花特性等調査	R4～R7	林業試験場が開発した無花粉スギ等の着花特性調査及び種子生産特性調査を行う。	森林管理
(2) 山地災害リスクを考慮した森林路網整備に関する研究	R4～R6	国土保全と林業振興の両立を実現させるため、山地災害リスクと経済性を考慮した路網評価に関する研究を行う。	森林管理

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
<p>3 木材の加工・利用に関する研究</p> <p>(1) 県産スギ大径材の製材や乾燥における品質の向上に関する研究</p> <p>(2) CLTラミナの乾燥品質向上に係る研究</p> <p>(3) 鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究</p> <p>(4) 県産材の建築用途を広げるJAS規格材の利用技術に関する研究</p> <p>(5) 樹齢に応じた「県産スギ材の良さ」に関する研究</p>	<p>R5～R9</p> <p>R4～R8</p> <p>R4～R7</p> <p>R2～R7</p> <p>R2～R6</p>	<p>スギ大径材の製材時の挽き曲がりや乾燥時の変形を抑制する手法を検討し、スギ大径材の利用促進を図る。</p> <p>CLTを構成する素材であるラミナ（挽き板）の品質向上と県産CLTの普及を拡大させるため、ラミナの乾燥技術の確立を図る。</p> <p>県内で植栽が進んでいるカラマツの生育に適した環境と材質特性を明らかにすることにより、県内における造林樹種の選択肢の拡大を図る。</p> <p>県内で生産が本格化されるJAS規格材について、市場で入手しやすい寸法での材料品質及び構造性能を明らかにし、製材品生産や建築設計に必要な基礎資料を得る。</p> <p>適材適所での利活用の推進による県産スギ材の付加価値販売を目標に、県産スギ材の樹齢に応じた材質特性（良さ）を数値的に明らかにする。</p>	<p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p> <p>木材利用</p>